

国産木材の利用による“杜のスタジアム”

1. 47都道府県からの木材調達
2. 日本らしい細部のデザイン



(植栽は、完成後約10年の姿を想定しております)

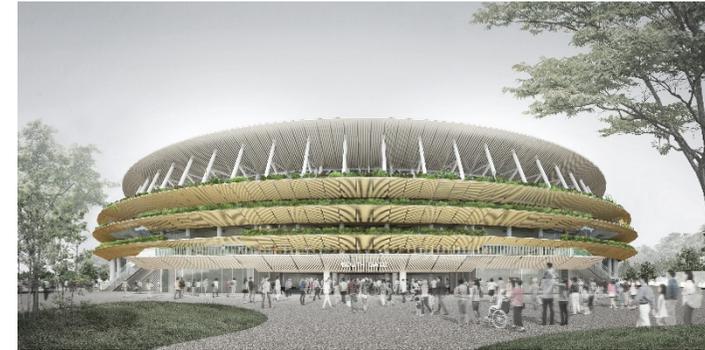
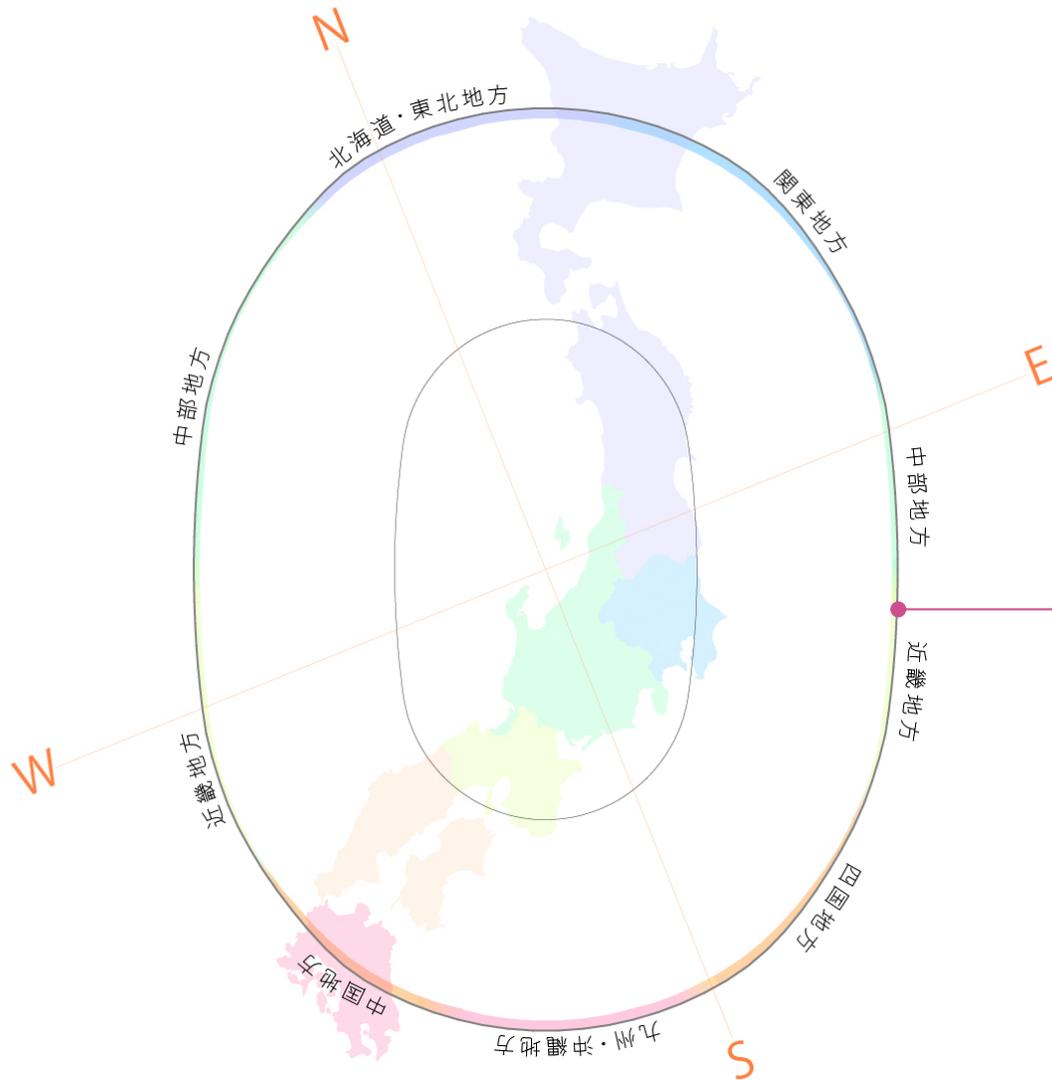
1.47都道府県からの木材調達

全国の木でつくる軒庇



震災被災県の木でつくるエントランスゲートの軒

ナショナルスタジアムとしての顔をつくる軒の建築



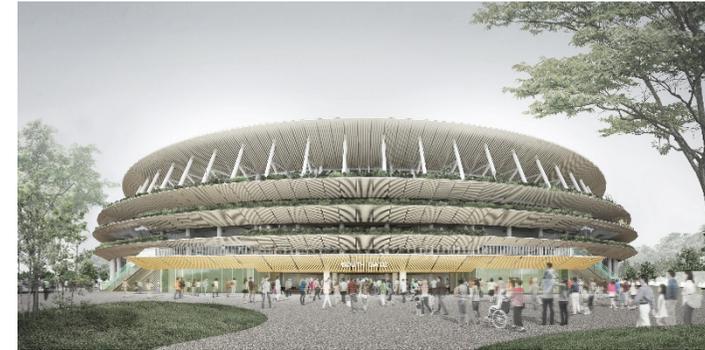
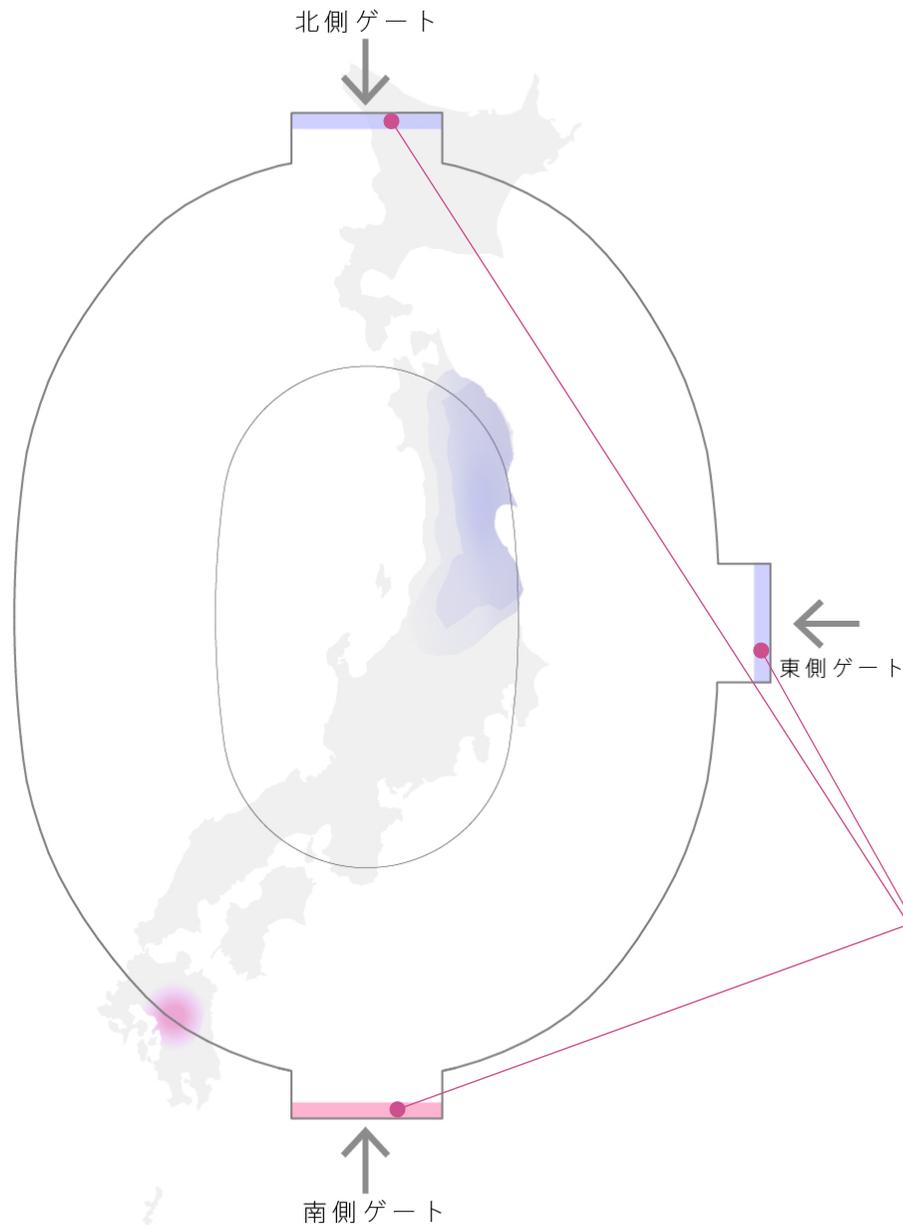
全国の木でつくる軒庇

※方位に応じて各県の木材を配置

※材種：スギ（沖縄県はリュウキュウマツ）

軒庇木ルーバー割付模式図

47都道府県から調達する**全国の木**



震災被災県の木でつくる
エントランスゲートの軒
※材種：スギ

エントランスゲートの軒 木ルーバー割付模式図

震災復興を祈念する被災県の木

森林認証された森の木



持続可能な管理が行われている森林のイメージ



森林認証された丸太のイメージ

47都道府県全て認証を受けた森林から調達

地球環境を保全する**持続可能な森の木**

住宅の間柱として全国に流通する105×30の木材



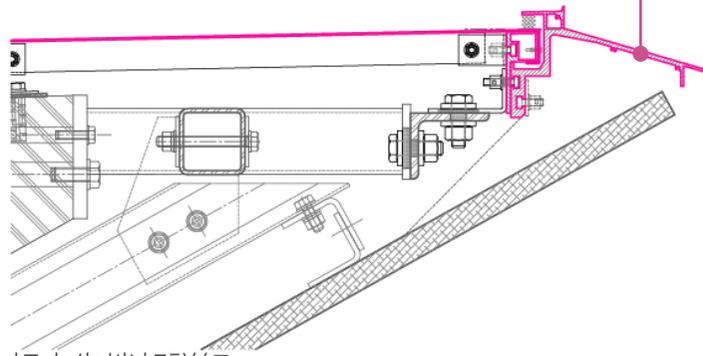
製材された流通木材

調達のしやすい**流通木材**

2. 日本らしい細部のデザイン

2. 日本らしい細部のデザイン

先端をアルミ型材とした薄く軽やかな笠木



軒庇先端部詳細

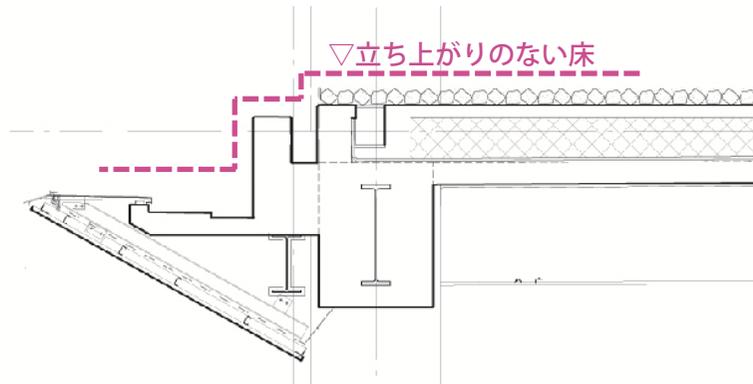


緑に溶け込む薄い庇



軒庇先端

外苑の緑に溶け込む軽やかな軒庇



風の庭先端部詳細



緑をつなぐ縁台

風景をつなぐ立ち上がりのない床



風の庭イメージパース

緑とつながる風の庭



空の柱イメージパース

単板木材を積層させた角のないベンチ ※安全性に配慮

植栽帯と調和する角のないベンチ

47都道府県の木材による軒庇について(ポイント)

○「国産木材の利用による世界に誇れるスタジアム」として、世界に向けて発信していくためには、全ての日本人が心を一つにするナショナルスタジアムとすべきであることから、日本全国から木材を調達することとしました。

○軒庇には、47都道府県から調達した木材を使用することとし、スタジアムの方位に応じて配置します(北側から南側にかけて、北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州・沖縄地方の木材を使用)。

○エントランスゲートの軒には、北側・東側ゲートは東日本大震災で被災した岩手県、宮城県、福島県の木材を、南側ゲートは熊本地震で被災した熊本県の木材を使用します。

○材種はスギ(沖縄はリュウキュウマツ)であり、軒庇とエントランスゲートの軒に使用する全木材は、持続可能な管理が行われているとして認証を受けた森林認証材を使用します。

(各都道府県での調達量は、1県あたり1.5～3m³で合計145m³、このうち被災県については、4県で40m³です。)

○現在、調達と並行して工場で材料加工や防腐処理を行っている状況です。また、軒庇の工事は2018年3月末から始まる予定です。